

【二】
解答

問一 a
1 3
ア 1 b
3 2

中学の最上級生の五年級

非常にうまいあだ名か警句

- | | |
|-----|----|
| 問一 | 2 |
| 問二 | 1 |
| 問三 | 4 |
| 問四 | 2 |
| 問五 | 5 |
| 問六 | 6 |
| 問七 | 7 |
| 問八 | 8 |
| 問九 | 9 |
| 問十 | 10 |
| 問十一 | 11 |
| 問十二 | 12 |
| 問十三 | 13 |

あだ名が三吉の命名したにんにくから他の者がつけたチャンスに
変わってしまうこと。

① 1
2 ② 4

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 3 | 3 |
| X | 2 | X |
| 3 | ○ | 4 |
| ○ | 5 | X |
| 5 | × | 6 |
| ○ | ○ | ○ |

【三】

A 4
B 1

わからないことを自分ではつきりさせること。
知識や経験を手がかりに自分で問題を解決していくこと。

わからぬことを自発的に見つけ、自分で解決することで身につけた
能力や知識こそ、社会で生きていく際に役に立つものだ。

(例) 文章を一語一語 意味を自分流に言い換えながら読んでみた。適當な言い換えが見つからない場合、国語
辞典で意味を調べると複数の意味があり、一つの意味に特定しなければならない。そのままでは先に読み進
めることができないのだが、面倒だと、嫌だとかいう感覚にはならない。この作業を終えたとき、文章が
初めて自分のものになったと思えた。以来、文章を読むことが楽しくて仕方ない。(180字)

【三】

ア 4
イ 2
ウ 3
エ 1

【四】

序列

照「れる」

召集

略歴

きさ

仕「える」

ちょうりゅう

も「る」

きさ「む」

仕「える」

きさ「む」

ちようりゅう

5 1

6 2

7 3

8 4